記者発表資料

令和２年１月 23 日
北九州市産業経済局

エアポートバス路線において、“自動運転バス”の社会実装に向けた実証実験がスタートします！

北九州市では、少子高齢化社会におけるドライバー不足や利用者減少に伴う採算性悪化による路線減少や行政コストの増大などの課題に対し、“自動運転バス”の実用化による解決を目指し、産・学・官連携による研究会において検討するなど、「持続可能な地域交通ネットワーク」の構築の実現に向けた取組みを行っています。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

この度、経済産業省・国土交通省が行う「中型自動運転バスによる実証評価実験」の実証事業者の１つに西日本鉄道株式会社が選定されたことを受け、将来的な自動運転バスの社会実装と公道走行を目指すべく、令和２年度にＪＲ朽網駅と北九州空港を結ぶ既存の路線バスルート（エアポートバス「朽網駅⇔北九州空港線」、約 10.5 ㎞）において、自動運転バスの実証実験が実施されます。

実証評価に先立ち、令和２年２月３日（月）から 29 日（土）までの間、同ルートにおいて、安全性の確認や諸課題の洗い出しを目的として小型自動運転バスを用いたプレ実証評価が実施されます。

なお、各実証評価の実施にあたっては、北九州市が開設している「北九州高度産業技術実証ワンストップサポートセンター」※が各種支援を行っています。

■ 自動運転バスによる実証実験の概要（予定）

	プレ実証評価	実証評価
導入台数	小型自動運転バス　１台	中型自動運転バス　１台
路　　線	エアポートバス「朽網駅⇔北九州空港線」　約 10.5 ㎞ （プレ実証評価、本実証評価とも同一ルートを予定）	
実証期間	令和２年２月３日（月）～29 日（土） のうち 17 日間	令和２年７月中旬～11 月中旬 （準備期間含む）
運行便数	１日４往復程度（６時～21 時）	

実証実験の詳細は、西日本鉄道株式会社ホームページ（http://www.nishitetsu.co.jp）をご参照ください。

※自動運転バスによる実証実験の実施にあたり、各種支援を実施しています。

「北九州高度産業技術実証ワンストップサポートセンター」での支援内容

- 実証実験に必要な手続きに対する相談対応（関係機関への確認を含む）
- 関係機関との調整、関係機関への情報提供
- 実証フィールドに関する土地管理者との調整
- 実証実験の実施に係る地域への周知等
- その他必要な支援

【問い合わせ先】
産業経済局　企業立地支援課
TEL：093-582-2065